



第3回

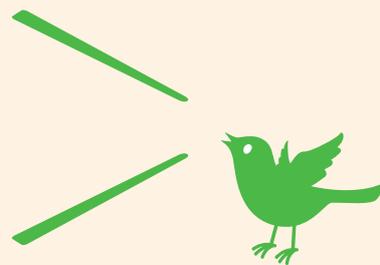
スマートライフスタイル大賞

2014年の受賞団体のみなさま

- 大賞 公益財団法人神奈川県労働福祉協会川崎市大師保育園
株式会社東芝
- 優秀賞 海風の森をMAZUつくる会
昭和電工株式会社 川崎事業所
- 奨励賞 川崎ゼロ・エミッション工業団地協同組合
株式会社日経東京製作センター 川崎工場
JX日鉱日石エネルギー株式会社 川崎製造所
CCさいわい
民家園通り商店会
エネルギー・環境 子どもワークショップ実行委員会
川崎市地域女性連絡協議会
株式会社東芝 小向事業所
川崎市立稲田中学校
川崎市立小倉小学校



第3回 スマートライフ スタイル大賞 (2014年)



スマートライフスタイル大賞は市民や事業者の節電・省エネ等のCO₂削減に貢献する優れた取組を募集・表彰し、広く一般に公開することにより、地球温暖化対策の推進を目指すものです。

このたび、「第3回スマートライフスタイル大賞」として大賞2団体、優秀賞2団体、奨励賞10団体の表彰を行いました。

こうした取組を発信し地域に広げていくことで、低炭素、資源循環、自然共生の各分野を統合的に達成する持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。

CC川崎エコ会議について

川崎市では、「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略 (CCかわさき)」に基づき、低炭素社会の構築を目指した取組を進めています。CCかわさきを推進するため、全市の多様な主体 (市民、事業者など) による地球温暖化対策の推進ネットワーク「川崎温暖化対策推進会議 (カーボン・チャレンジ川崎エコ会議)」を創設し、協働による様々な活動を行っています。スマートライフスタイル大賞もその取組の一環として行っています。

大賞

公益財団法人神奈川県労働福祉協会川崎市大師保育園

★自然とふれあう、環境保育

米作り体験や緑のカーテンなど自然とのふれあいの中で環境保育を行うとともに、雨水タンクや節水バルブの設置などのCO₂削減の取組を行い、リサイクル遊具づくりや廃材作品展を行うなど3Rの取組も推進している。また、保育士による活動組織「いきものがかり」を結成し、定期的な打合せや自然新聞の発行を行うなど継続的な取組体制を構築している。



大賞

株式会社東芝

★グローバル環境一斉アクション

グローバル環境一斉アクションは東芝グループ20万人の従業員の環境意識の向上と一体感の醸成を目標とするプロジェクトで、2014年は世界20カ国において約150件の環境活動を行い、6月5日の世界環境デーには川崎スマートコミュニティセンターにて、東芝グループの取組を世界に向けて発信した。川崎においては東芝未来科学館を中心に環境教育の場を提供するとともに、スマートコミュニティセンター、川崎市との連携による環境情報発信のモデルケースとなることを目指している。



優秀賞

海風の森をMAZUつくる会

★川崎区市民健康の森づくり



浮島町公園の植樹や保全を行うだけでなく、森を使った環境学習や体験学習にも力を入れている。森に生息する生物や野鳥の観察会の開催に加え、エコ暮らしこフェアなど市内で行われるイベントでのネイチャークラフト作りなどを通じて身の回りの環境や生物多様性について伝える活動を行っている。

優秀賞

昭和電工株式会社 川崎事業所

★小中学校への出前授業等によるプラスチック分別体験・科学実験教室を通じた環境教育・科学教育の取組

実際に回収された使用済みプラスチックを分解し、新たな製品の原料となる一連の工程を実感してもらうことで、リサイクルの意識や、環境の大切さを伝えている。市から環境教育の「体験の機会の場」の認定を受け、工場見学、実験教室に対応した体制を整え取組を進めている。また、市内小学校などへの出前授業や川崎市地球温暖化防止活動推進センターと連携した取組を積極的に行い、地域における環境教育に貢献している。



奨励賞

川崎ゼロ・エミッション工業団地協同組合

★地域における環境保全へ向けた取組

環境保全の取組に力を入れており、工業団地全体で環境ISOの認定を受け、9年となる。今後も継続していく予定であり、省エネルギー化・省資源化に努めている。小学生を対象とした工業団地内の工場や倉庫の見学を行うエコ学習は10年間継続しており、エコ教育にも力を入れている。



省エネ
貢献賞



奨励賞

株式会社日経東京製作センター 川崎工場

★日常業務を通じての環境負荷低減への取組

新聞印刷業務を行う中で、無理のない数値目標を毎年設定・周知し、エコ資材の活用による輸送燃料の削減、分別リサイクルの徹底など、環境負荷低減に向けたチャレンジを続けている。さらに定期的に達成状況を検証し、改善策を検討している。また、工場敷地30%以上の緑化をすすめるとともに、通年で見学を受け入れ、工場への取組を来場者に紹介している。

省エネ
貢献賞



奨励賞

JX日鉱日石エネルギー株式会社 川崎製造所

★環境負荷低減と地域共生の取組

一般廃棄物排出量削減に積極的に取り組み、2013年の紙の使用量は2012年比13%減を達成。今年度は前年度比8%減を目標に掲げている。分別にも力を入れ、分別ボックスを新たに設置するとともに、工場においてはLED化、昼休みの事務所消灯などにより、電力削減に取り組んでいる。地域との共生にも力を入れ、工場見学会などの活動を行っている。

3R
推進賞



奨励賞

CCさいわい

★地球にやさしい暮らし「エコライフ」の普及・啓発活動

地球温暖化対策講座、省エネ実験、自然観察、施設・会社見学などのイベントを通じてエコ暮らしの普及啓発を行っている。イベントでは参加者を第一に考え、一人一人に誠意を持って対応し、エコライフの大切さを伝えている。幸区内だけではなく市内に活動を広げ、「自然・資源・食物・生命」を大切に作る心、思いやる心を育てることを目的とした活動を行っている。

地域共生
推進賞



奨励賞

民家園通り商店会

★民家園通り商店会夏祭りでのリユース
コップの取組

商店会の夏祭りでは、リユースコップを使用し、CO₂削減に努めるとともに、洗浄車の展示を行い、エコの取組を可視化することで理解を深める工夫をしている。昨年から南相馬市の仮設住宅に住む女性達が作った洗剤を使用しないエコたわしの販売も行い、被災地支援とともに、エコな暮らし方の提案も行っている。



地域共生
推進賞

奨励賞

エネルギー・環境 子どもワーク ショップ実行委員会

★CO₂削減等のエネルギー・環境教育に取り組む市
内公立学校と団体・企業をコーディネートするエ
ネルギー・環境子どもワークショップ実行委員会

子どもたちが地球温暖化問題について進んで考え、話し合うきっかけづくりを行っている。学校や団体、企業の間をつなぐコーディネーターとしての役割を担い、出前授業や施設見学などのマッチングも行うことで、ワークショップにかかわる各主体の交流・協働を活性化させ、地域での地球温暖化対策の一層の広がりを目指すことを目指している。

地域共生
推進賞



奨励賞

川崎市地域女性連絡協議会

★環境市民の輪を広げ、持続可能な社会の
実現をめざす

廃食油のリサイクルに力をいれ、廃食油の回収を行うとともに、リサイクル石鹸普及のための学習会などを開催している。ライトダウンキャンペーンにも参加し、夏至と七夕に集合住宅に呼びかけ、2時間の消灯を行った。また、ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥化の普及にも力をいれ、各地に出向き講習会を行っている。



地域共生
推進賞



奨励賞

株式会社東芝 小向事業所

★事業所近隣6町内会への環境配慮の取組
と啓発活動

事業所近隣町内会への事業説明会の中で、事業活動における環境配慮活動を伝えるとともに、川崎市との協働によりエコドライブなど省エネに関する情報を発信するなど、地域における環境の情報提供、情報共有の場としての役割を果たしている。また、毎年創立記念日には場内の一部を開放した1万人規模のお祭り広場を開催し、この中で資源の再利用やドライミストの体験、省エネ家電の展示などを行い、省エネ活動の発信、呼びかけを行っている。

地域共生
推進賞



奨励賞

川崎市立稲田中学校

★HANOIとKAWASAKI
家庭ごみから環境配慮行動の育成をめざす
環境教育教材の開発

経済発展により都市環境問題が発生しているベトナム、ハノイにおいて、公害を克服した川崎市の取組やベトナムの現状などを紹介する環境教育の教材を作成し、環境配慮行動を呼びかけている。同時に川崎市内の中学校でも同じ教材を用いた学習を行い、川崎とハノイの比較の中から環境意識の向上を図っている。



環境教育
貢献賞

奨励賞

川崎市立小倉小学校

★地域とともに取り組む小倉小60周年
記念環境活動

創立60周年を迎えるにあたり、児童、家庭、地域が協力し、環境整備活動に取り組んでいる。アルミ缶の回収、ピオトープの再整備、花植え活動などの取組を通じて児童がCO₂削減について考えを広げるきっかけを作っている。また、地域の専門家のアドバイスなども得ながら、楽しみながらCO₂削減についての学習を行っている。

環境教育
貢献賞

